

福岡の森づくり 令和3年度事業実績



令和3年度寄付額 1,558,960円

皆さまの寄付金は、福岡市のスギ・ヒノキなどの人工林の間伐整備に活用させていただきました。



適切に整備されていない森林



適切に整備されている森林

幼木が下草や蔓に負けて枯れてしまわないように下草を刈る「下刈り」や、木の密度を調整する「間伐」、節のない材を生産するための「枝打」等行うことで、暗くなってしまっていた森林にも、地面まで光が届くようになりました。

地面まで光が届くことで、下草が生え、表土の流出が抑制され、また、保水力が向上するなど、公益的機能がより発揮されることに繋がります。

健康な森林を次世代に残すためにも、今後とも森林事業へのご理解とご協力をお願いします。



福岡市の森林について

福岡市には市域の約1/3にあたる11,730haもの森林があることを知っていますか？

皆さまがご存知のとおり、森林には生物多様性の保全や災害防止、水源涵養などといった多くの機能があります。それらの機能を十分に発揮させ、「健康な森林」を作るためには、人による整備が不可欠です。

例えば、スギやヒノキの人工林では、人が整備をしなければ、林の中が暗くなってしまいます。林の中が暗いと、草が生えず、土がむき出しの状態になってしまいます。そうすると雨の度に土が流され、いずれは土砂崩れの一因になる可能性もあります。近年の豪雨を考えると、森林の整備は直接的に皆様の命を守ることに繋がります。

木を植え、育て、切り、また植える。

そうして繋がってきた私たちの森を、これから先の未来に残し、育てるために、福岡市は森づくりを行っています。

皆さまもぜひ、ご協力ください。

農林水産局森林・林政課 (Tel 092-711-4846)

